

胆沢平野

東稲山

北上川

黄金色に染まる生母地区

(令和3年9月19日撮影)

目次

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1 表紙 | 5 令和3年度農業用水の通水完了、工物品評会表彰式 |
| 2 理事長挨拶 | 6 農業生産基盤整備の着実な推進支援 |
| 3 令和3年度第1回臨時総代会 | 7 IACS農業経営セミナー、水土里の皆廊 |
| 4 令和2年度決算 | 8 お知らせ |

令和3年9月

No. 150





あいさつ

令和3年9月

胆沢平野土地改良区 理事長 及川 正和

コロナ禍での土地改良区運営の結果について

4月21日から9月10日までの143日間にわたり、本土地改良区の最大の使命であります「農業用水の安定供給」を無事終える事が出来ました。

これも偏に、11地区道水路保護組合と257分区の皆様方並びに69名の施設管理人の皆様方、35地区の用排水施設管理組合の皆様方の多大なご協力の賜物であります。

衷心より厚く御礼と感謝を申し上げます。

毎年、稲の収穫時期には組合員皆様方の経営意欲を左右するJA岩手ふるさとの米概算金が公表されます。今年は慣行米60kg当たり9,100円に独自加算500円を加えて9,600円と公表されております。値下がりの要因はコロナ禍での需要落ち込みであり、感染防止に向けた一人ひとりの努力が大事であると痛感しております。

さて、去る8月20日「令和3年度第1回臨時総代会」をコロナ感染対策として書面議決で開催し、全議案可決いただきましたことをご報告申し上げます。

決算では、長期計画に掲げた健全運営の基盤となる「健全財政運営の堅持」の指標として、令和5年度までの財政見通しを策定しており、財政見通しとの乖離が重要であります。

結果として、令和2年度単年度収支財政見通し額66,304,000円に対し実績額では102,326,053円、財政見通し額に対し36,022,053円の増額となっております。また、職員のスキルアップの一環であります戦略的資格取得では、女性職員だけでありましたが換地士(A)に1名、1級土木施工管理技士に1名合格しており、一定の成果に結びついております。

今年度も「地域農業の創造」に向けて、ほ場整備事業の着実な推進支援をはじめ水利施設整備、胆沢平野版農業クラウドシステムの普及に取り組んでおるところであります。同時に、組合員の高齢化の進行と農地集積を踏まえた組合員皆様方の負担軽減に向け、令和4年度からの「幹線水路並びにため池の刈り払い」見直しを進めているところであります。

稲刈り作業も繁忙期を迎えております。新米を楽しみにしている多くの消費者に思いを馳せ、無事稲刈り作業を終えられますことをご祈念申し上げます。

令和3年度 第1回臨時総代会

令和3年度第1回臨時総代会を令和3年8月20日に開催いたしました。

今回の臨時総代会は、7月13日開催の総代協議会正副会長会議において、奥州市のワクチン接種の進捗状況などを協議した結果、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面議決での開催にしたいとの提案があり、7月20日に急遽理事会を開催し決定いたしました。

当日は、及川正和理事長、高橋久祥総括監事、総代協議会千葉幸悦会長、五嶋義明副会長、佐藤武志副会長の出席と書面議決71名（欠席者0名）により、議長には前沢地区の高野與七総代を選出し令和2年度事業報告、決算報告を含む全12議案について、慎重審議いただき、全議案原案のとおり可決いたしました。



議長を務める高野與七総代

■令和2年度 賦課面積及び組合員の状況と単年度収支額

1. 賦課面積・組合員数

地区名	面積 (ha)	組合員数 (人)
奥州市胆沢	4,862.9	2,441
奥州市水沢	2,360.5	2,303
奥州市前沢	1,688.2	1,472
金ヶ崎町	294.7	198
計	9,206.3	6,414

2. 単年度収支額

区分	金額 (円)
令和2年度収入	1,428,497,541
令和2年度支出	1,326,171,488
計	102,326,053

■令和2年度 事業の状況

事業名	事業内容	金額 (円)	負担割合 (%)
基幹施設事業	幹線水路補修	17,516,510	土地改良区100
小用排事業	コンクリート水路敷設	28,110,500	市28.7、土地改良区61.3、 地元10
清水下笹町水路整備事業	コンクリート水路敷設	61,551,600	市100
土地改良施設維持管理 適正化事業	宮坂場水機主ポンプ電動機 整備補修	3,304,400	国30、県30、土地改良区40
基幹水利施設管理事業	放水工巻上げ機分解整備工事	4,950,000	国30、県30、市町10、 土地改良区30
国営造成施設管理体制 整備促進事業	染屋除塵機分解整備工事	4,620,000	補助金37.5（国50、県25、 市町25）、土地改良区62.5
計		120,053,010	



令和2年度決算 貸借対照表総括表

(単位：円)

Ⅰ. 資産の部		Ⅱ. 負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 流動資産	513,063,811	1. 流動負債	361,013,737
(1)現金及び預金	77,561,187	(1)未払金	361,013,737
(2)未収賦課金等	604,040		
(3)短期未収金等	249,762,384		
(4)未収受託料等	185,136,200		
2. 固定資産	4,070,811,055	2. 固定負債	2,383,315,447
(1)有形固定資産	1,690,086,994	(1)日本政策金融公庫借入金	1,057,962,538
①所有土地改良施設	1,587,740,278	(2)全国土地改良事業団体連合会借入金	179,128,000
②土地改良施設用地等	102,346,716	(3)償還積立金引当金	0
(2)無形固定資産	344,127,339	(4)事務所営繕積立金引当金	112,335,690
①受託土地改良施設使用収益権	343,900,339	(5)ほ場整備地区維持管理支援基金引当金	100,000,026
②地上権	227,000	(6)小用排水路維持管理基金引当金	99,300,544
(3)その他固定資産	2,036,596,722	(7)職員退職積立金引当金	284,097,627
①基本財産	828,428,266	(8)各種積立金引当金等	550,491,022
建物及び設備、山林、宅地等	373,962,357		
維持管理積立金等	454,465,909		
②特定資産	1,203,701,116		
財政調整基金	604,760,116		
償還積立金	0		
事務所営繕積立金	112,335,690		
ほ場整備地区維持管理支援基金	100,000,026		
小用排水路維持管理基金	99,300,544		
職員退職積立金	264,097,627		
各種積立金等	23,207,113		
③その他資産	4,467,340		
資産合計	4,583,874,866	負債合計	2,744,329,184
		Ⅲ. 正味財産の部	1,839,545,682
		1. 一般正味財産	1,839,545,682
		負債及び正味財産合計	4,583,874,866

※正味財産とは…資産合計から負債合計を差し引いた純資産額のことをいいます。

令和3年度 農業用水の通水完了

今年度の農業用水の通水は、胆沢ダムからの取水が4月21日から9月10日まで143日間、北上川からの直接取水が5月1日から8月31日の123日間をもちまして無事完了いたしました。

○管内施設点検の実施

施設点検では、37箇所スクリーンのゴミ上げと26箇所除塵機の点検を行い、通水阻害物を取り除き、安定した農業用水の供給を行いました。

水路に転落したニホンジカが今年度は6頭あり、110kg以上が2頭、100kg未満が4頭で、職員が引き上げ作業を行い、奥州金ヶ崎行政事務組合で焼却処分しました。

また、ドローンを活用して、管理困難区間137箇所を通水阻害物を点検し、農業用水の安定供給を図ってまいりました。

○夏季幹線刈払の実施

7月の幹線刈払は、組合員皆様方で幹線水路369km、ため池28箇所の刈払いを実施しております。今年度から新型コロナウイルス感染症対策及び事故防止のため、マスクの配布と刈払い作業前のチェック表に基づく体調確認を義務付けました。



小山地区 大畑水路
ドローンによる管理困難区間の点検



ニホンジカの引き上げ作業

令和2年度 胆沢平野土地改良区 土地改良工事品評会 表彰式

令和3年5月27日、令和2年度発注工事の土地改良工事品評会の表彰式を開催しました。土地改良工事品評会は、「工事品質の確保と施工管理者である土地改良区の施工管理技術の検証と向上」を目的として毎年開催しております。令和2年度は小用排維持管理事業34路線、多面的機能

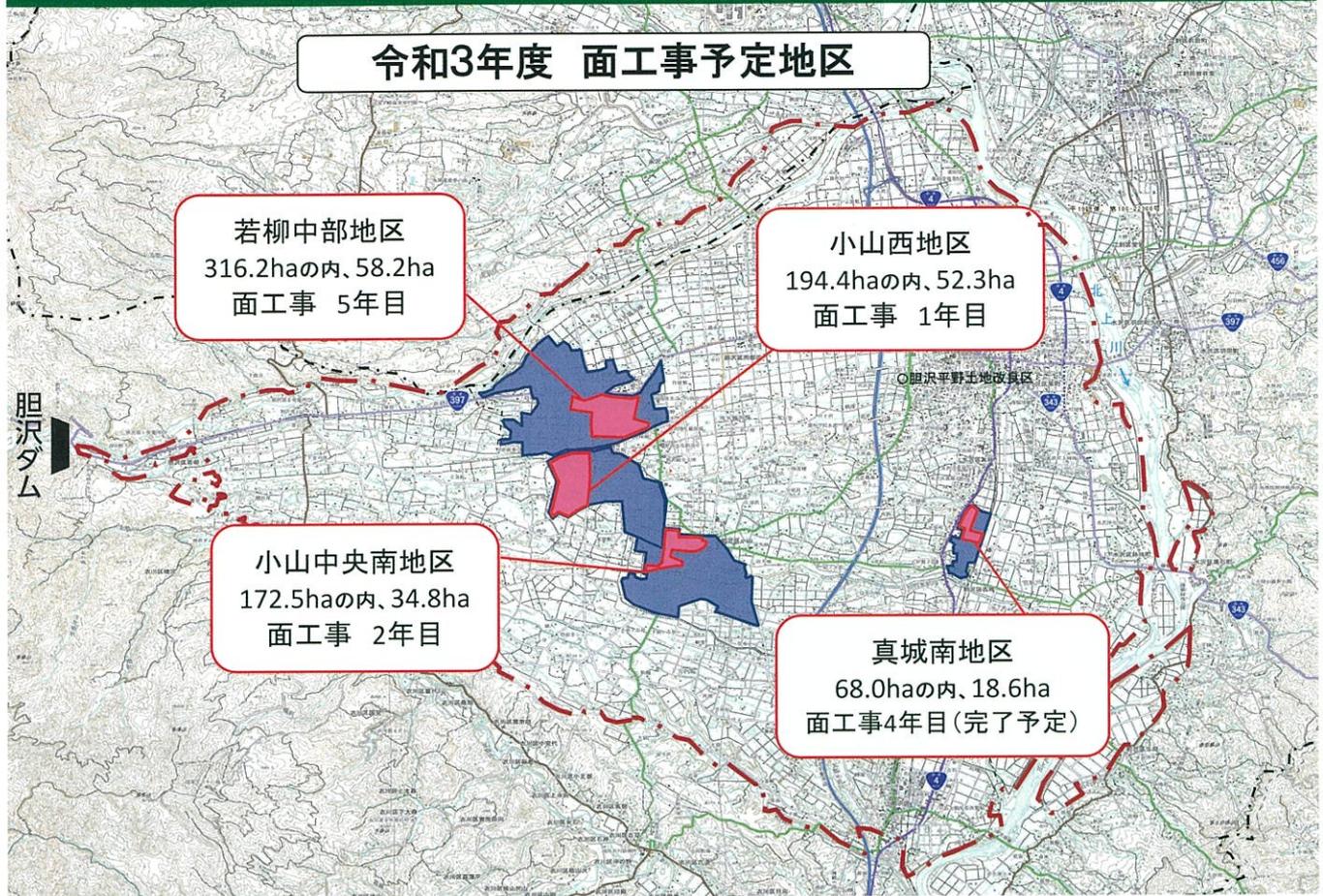
支払交付金長寿命化活動51路線を審査対象として、施工管理技術の向上に取り組み、現場審査会の評価結果により1位から3位まで表彰いたしました。



多面的機能支払交付金長寿命化活動 第1位 施工品質(左)と表彰式(右)の状況



農業生産基盤整備の着実な推進支援



事業主体である岩手県では、事業実施16地区の内、面工事4地区163.9haを9月から順次実施する予定です。小山西地区は今年度から面工事に着手地区であり、他の3地区については面工事継続実施地区です。

■本事業実施16地区の推進支援の取組み

業務内容	地区数	地区名
従前図調整、従前地再調査	1地区	東田西部地区
従前地再調査、換地設計・土地評価基準作成、従前地土地評価	5地区	北下幅北地区、北下幅中地区、北下幅南地区、四ツ屋地区、真城西地区
換地計画原案作成・発表、相続等代位登記	1地区	小山中央北地区
換地計画原案作成、相続等代位登記	1地区	小山東地区
相続等代位登記	2地区	小山西地区、姉体秋成地区
相続等代位登記、監督支援業務	1地区	真城南地区
一時利用地指定、相続等代位登記、監督支援業務	1地区	小山中央南地区
一時利用地指定、変更指定、相続等代位登記、監督支援業務	1地区	若柳中部地区
一時利用地指定、変更指定、確定測量、工事後の土地評価、相続等代位登記、監督支援業務	2地区	真城北地区、南方地区
確定測量、相続等代位登記	1地区	荻ノ窪地区
計	16地区	

地域農業を創造する担い手育成支援の充実

「第7回 IACS 農業経営セミナー」

高収益作物導入に向けた研修会を開催しました

7回目である今回は、ほ場整備事業の営農ビジョンの作物として必須要件である「高収益作物」について2回の現地研修会を実施しました。

営農組合法人で取組む露地ピーマン圃場研修 7月30日(金)

講師の農事組合法人佐倉河営農組合の組合長熊谷喜一様から「岩手ふるさと農協のサポートが手厚く、夏場の組織の収入源になる。」など取組み内容を、岩手ふるさと農協園芸課の方には、設備助成金などの生産拡大支援体制についてご説明いただきました。当日は11経営体34名の参加があり、参加者からは10aあたりの作業人数や一週間に何時間働くのかなどの「人手確保」に対する質問が多く出されました。



加工用トマト 機械収穫研修 9月7日(火)

講師の農事組合法人小山中央みなみの小野寺英大様から「今後の地域を考えた時に、人手が多くかかる品目では難しい。定植機や刈取の機械など無償でカゴメ株式会社より借りる事ができ、栽培についてもサポートが充実している。」、カゴメ株式会社野菜事業部の益子様からは「まず、少しの面積からでいいので1年作付けしてみしてほしい。」とのお話がありました。当日は13経営体30名の参加があり、参加者からは「試しに来年からやってみようと思った。」という声が聞かれました。

土地改良資産を活用した農村振興

水と土の皆の歴史 ~Countryside history~

8月末時点の皆悠者は、延べ22,544名であり、今年度から施設に加えた県営初の「岩手県企業局胆沢第二発電所」は予想を大幅に上回る1,270名で賑わっております。

また、コロナ対策としてスタンプをステッカーに変更し、パンフレットとステッカーを包装して設置しております。皆悠者からは「ステッカーでコロナ対策がなされており安心して楽しめました。」との感想をいただきました。

寿庵堰と葦名堰に看板を新設しました!!

寿庵堰には、後藤寿庵の領地であった福原（奥州市水沢）の地名のいわれと寿庵を顕彰するため開催している寿庵祭について、葦名堰には北の斜坑に当時の灯火を再現し、水路開削に励む先人の姿を描いた看板を設置しました。ぜひ現地でご覧ください！



寿庵堰「福原と寿庵祭」



葦名堰「北の斜坑を開削する当時の人々」



《土地改良区からのお願いとお知らせ》

お問い合わせ先：賦課徴収課（内線151番）・水利整備課（内線146番）

賦課金の期限内納入にご協力をお願いします

納期限 令和3年11月30日（火）

※一般賦課金2期及び償還賦課金

下記の場合は、必ず土地改良区に届出をお願いします

1. 組合員の資格に異動があったとき	2. 農地を転用するとき
農地を売買、交換、相続、贈与したとき 農地を貸借及び解約したとき 農業者年金の受給、または経営移譲したとき 組合員が死亡したとき 組合員が住所変更したとき	農地を宅地や道路等に転用するとき ※決済金の納入が必要となります。
4. 水路を使用するとき	3. 農地を公売・競売等で取得したとき
水路を出入口等に使用するとき、管理施設使用許可申請書を提出し、 使用料、手数料を納入の上、許可を得てから使用すること。 水路を工事するとき、工事施工許可申請書を提出し、 手数料を納入の上、許可を得てから工事をすること。	5. 排水放流をするとき 合併浄化槽処理水、油水分離槽処理水を水路に放流するときは、排水放流許可申請書を提出し、 使用料・手数料を納入の上、許可を得てから放流すること。

下記事項についての申請は火曜日と木曜日の午前中に受付します

1. 払い下げ 2. 境界査定 3. 工事施工 4. 施設使用 5. 排水放流

編集後記

令和3年度8月の臨時総代会は、昨年に続き新型コロナにより書面議決となりましたが、全議案承認となり、総代皆様方よりご理解いただき大変ありがとうございます。豊穰の秋を迎え、稲の刈取も始まり、大豊作に期待したい所ありますが、全国的に米価が下がり（2,000円以上）、そして、昨年12月の大雪でハウスの倒壊等でWパンチであり、米農家にとりましては、大変な打撃の様でございます。一日も早くコロナが終息し、経済が元に戻ります様願います。

□広報編集委員

委員長

佐々木廣行総務担当理事

編集委員

石川 康幸、渡辺めぐみ（企画換地課）

千田 祐介、千葉 遥奈（総務課）

千田 武則、後藤 弘利（水利整備課）

阿部 知行（賦課徴収課）